

評価基準書

評価項目 配点/最低水準点	評価の視点	
①団体としての活動実績 30点/12点	団体は、豊富な市民活動の経験を有しているか	
	団体は、事業運営上必要なネットワークを有しているか	
	団体は、中間支援の実績はあるか	
②提案内容 140点/56点	a. 業務の理解・把握について 30点/12点	募集要領や仕様書に示された目的を明確に理解したものになっているか
		本市の市民活動の現状及びニーズを踏まえたものになっているか
		本市の市民活動の将来的な発展について、明確な展望を示したものになっているか
	b. 独創性・実現性について 30点/12点	団体の有する独自のノウハウ、資源を利用した独創的な事業計画が策定されているか
		事業計画の内容が、実現性の高いものになっているか
		各事業計画の内容は独善に陥らず、NPO関係者はもちろん、広く市民に理解されるものになっているか
	c. 効果について 30点/12点	NPO関係者や事業参加者の声を聴き、それをセンターの運営に反映させる方法が構築されているか
		事業について、十分な情報発信が計画されているか
		経済的で効果的な手法が検討され、採用されているか
	d. 計画性について 30点/12点	5年間の事業期間を通し、事業の目標・方向性は一貫しているか
		各年度の事業計画と達成目標は示されているか。また、それは適切であるか
		市民活動を推進する上での問題点・課題を把握し、効果的な事業計画が立案されているか
e. 連携性について 20点/8点	企業・教育機関・行政等との連携を図る上での問題点を把握し、有効な取り組みが提案されているか	
	特に地縁組織との連携を図る具体的な手法が検討され、事業が計画されているか	
③団体の保有する人材の状況 30点/12点	資金獲得（ファンドレイジング）や会計事務、その他NPO全般について十分な知識を備えた人材がいるか	
	本事業に必要な法令（特定非営利活動促進法や登記令等）について十分な知識を備えた人材がいるか	
	円滑な事業実施に必要な人材配置計画になっているか	
④コストの妥当性 100点	※コストの評価については、客観的なデータすなわち見積額の“高い”“低い”を根拠とした評価とする。（1－提案額／提案限度価格）×100点（小数点以下切捨て）	

(注)網かけ項目は、選考委員による評価対象外。